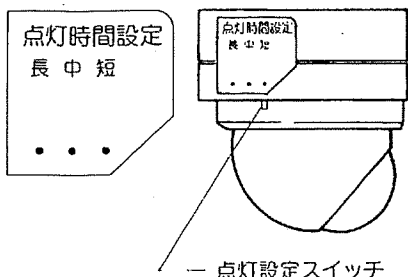


防雨形・人感センサー（点滅タイプ）

(Y047A) C.

●この取扱説明書は同種類の器具と共通になっておりますので、お求めの器具と姿図が違っている場合があります。

■センサー機能について

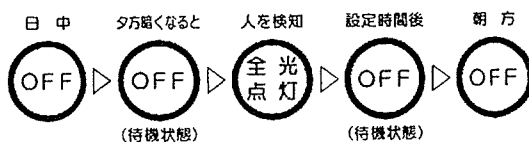


●この器具はセンサーユニット側面の点灯設定スイッチを調整することにより点灯時間を切り替えることができます。

- 短：約30秒
- 中：約60秒
- 長：約180秒

- 点灯・消灯は瞬時に行われます。
- 出荷時は「短」に設定してあります。

- 夕方暗くなり、検知エリア内に人が入りますと自動的に全光点灯し、
 - 検知エリア内で人が動いている間は、連続点灯します。
 - 検知エリアから人が離れたり、静止しますと設定時間で消灯します。



- 周囲が設定より明るいときは点灯しません。

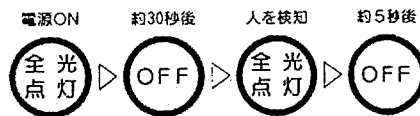
■その他の機能について

テストモード

- 器具を設置したときなど、人感センサーの検知エリアを調整、確認することができます。

点灯照度設定
暗 明 テスト

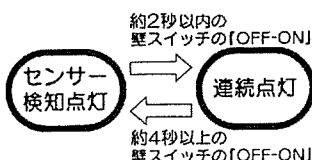
- 電源投入後約30秒間、強制的に全光点灯し、器具の結線作業を確認できます。
- 周囲が明るい時でも、人を検知するたびに、約5秒間全光点灯します。器具の周囲を歩き、検知エリアの確認、調整を行ってください。



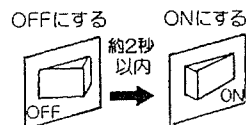
- テストモード

連続点灯

- この器具の配線に壁スイッチを取付け、壁スイッチを操作することにより、周囲の明るさ、人体検知に関係なく器具を点灯させることができます。



- 壁スイッチをOFFにしてから約2秒以内にONにすると連続点灯状態になります。連続点灯状態に切り替え後、約8時間で自動的にセンサー検知点灯にもどります。
- 連続点灯状態の時に、壁スイッチをOFFにしてから約4秒以上してからONにするとセンサー検知点灯状態になります。

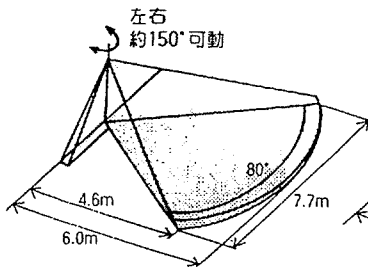


- (ご注意)
- 連続点灯中に壁スイッチ操作（約2秒以内にOFF→ON）を行なった場合、タイマーがリセットされ、その時点から約8時間の連続点灯になります。
 - 壁スイッチを使用しない場合は、連続点灯に切り替えることができません。

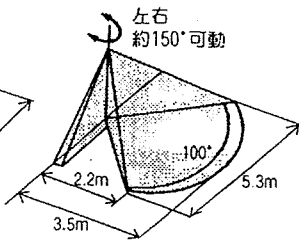
■ 検知エリア (センサーが検知する範囲)

■ 検知範囲は下図の通りです。(取付高さ2m)

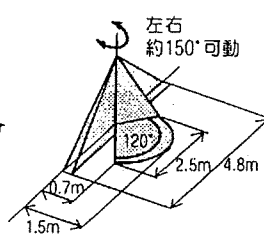
● エリアカットマスク無し (高さ2.0m)



● エリアカットマスク A使用時 (高さ2.0m)



● エリアカットマスク B使用時 (高さ2.0m)

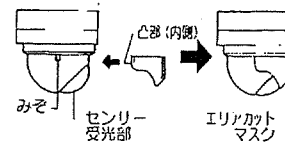


エリアカットマスクA



エリアカットマスクB

● エリアカットマスクの取付け方
エリアカットマスク内側の凸部をセンサー受光部側面にあるみぞにはめて下さい。

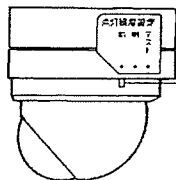
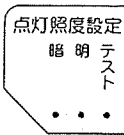


(ご注意) 検知エリアは、気象条件などにより差が生じる場合があります。
(特に寒冷地などで、手袋・コートなどの表面温度が低い時、動作しない場合があります。)

■ センサーの点灯照度について

■ 点灯照度設定

点灯照度 (センサーが感知する周囲の明るさ) の調整とテストモードの切り替えができます。



点灯照度スイッチ

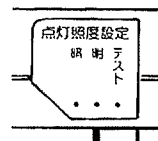
● 出荷時は「暗」に設定してあります。

● 明・暗 / 点灯照度

- センサーが検知する周囲の明るさを調整します。
 - スイッチを暗に設定すると暗い照度 (約15 lx) で点灯します。
 - スイッチを明に設定すると明るい照度 (約45 lx) で点灯します。
- 注) 点灯照度は消灯状態から点灯状態へ切り替わる照度です。
点灯状態から消灯状態へ切り替わる照度は灯具の点灯・消灯の繰り返し防止のため、点灯照度より高い照度で設定しています。
点灯照度は器具を取り付けられる周囲の明るさによって調整してください。



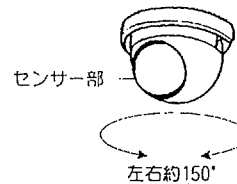
● 点灯照度約15 lx



● 点灯照度約45 lx

■ センサー可動範囲

センサーの可動範囲は左右150°のみです。上下方向の検知エリアは、同梱されている2種類のエリアカットマスクA、Bで調整することができます。



左右約150°

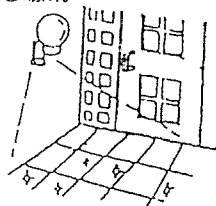
■ 器具を取り付ける前に

■ 器具の性能を確保するため、設置場所は十分検討の上決定してください。

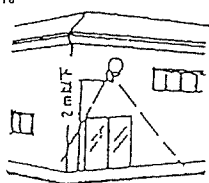
1. 検知エリアを考慮して設置してください。
 - 高さ2m以内に設置してください。
 - センサーの特性上、図の様に検知エリアを人が横切る位置に設置しますと、センサーの人体検知の信頼性がより向上します。
 - センサー正面に向かって人が近づく様な位置に設置しますと、検知エリアに沿って人が接近した場合、器具のごく近くまで人が近づかないと、検知しない場合があります。
 - 器具本体から出た光の反射によって起こる自己点滅を防ぐため、白壁から1.5m以上離して取り付けるか、もしくはユニットの方向を調整してください。
 2. 検知エリア内に障害物がある場所への設置はお避けください。センサーが働かないことがあります。
 3. 車のヘッドライトが直接当たる場所への取り付けはお避けください。誤作動の原因となります。
 4. 暖房器具の付近や、蒸気などが当たる温度変化の多い場所への取り付けはお避けください。誤作動の原因となります。
- 雨や雪などをセンサーが検知してランプが点灯する場合がありますが、故障ではありません。

■ 次のような場所には取り付けないでください。(検知しなかったり、誤動作、故障の原因になります。)

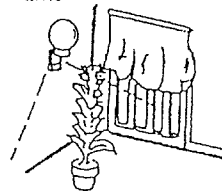
(1) 大理石など反射の強い床面のある場所。



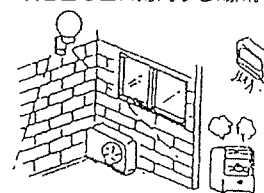
(2) 取付高さが2m以上になる場所。



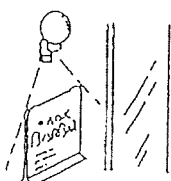
(3) 風などでよくゆれるのれんや植物などが器具のそばにある場所。



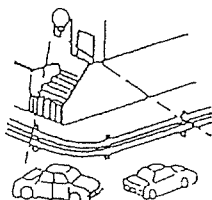
(4) エアコンの吹き出し口の近く。吹き出し口に対向する場所。



(5) 前面に障害物のある場所。(透明なガラスでも遮断されます。)



(6) 検知エリア内に交通量の多い道路がある場所。



(7) 振動の激しいポールなど、不安定な場所。



(8) 昼間でも暗い場所や、夜間でも明るい場所。

- 取付環境により照度レベルが変わり、誤動作等が考えられる場合は、別途スイッチを設置してください。

